



DEN

No.10

2013.7.31発行

作業療法を伝える — NEWS&COMMUNICATION

心豊かに作業療法

作業療法士を
知りたいひと
必読！



CONTENTS

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1 インタビュー／渡辺 真弓さん | 11 養成校紹介／大分リハビリテーション専門学校 |
| 3 インタビュー／佐藤 圭一郎さん | 12 養成校紹介／藤華医療技術専門学校 |
| 5 まんが作業療法物語～作業療法学生編～ | 13 全国地域作業療法研究大会 第18回学術集会 |
| 10 教えて！作業療法 | 14 活動報告 |



患者さんの生活に寄り添い 人生をサポートできる職業



医療法人 畏敬会
井野辺病院

作業療法士 渡辺 真弓 さん
Watanabe Mayumi

Q. なぜ作業療法士を目指そうと思いましたか？

A 高校生の時、祖母が膝の手術後にリハビリを受けている場面を見学して作業療法士という職業を知りました。将来的に祖母に孝行したいと思っていた矢先なので、リハビリすることで孝行ができると思い作業療法士を目指そうと思いました。その後、専門学校に行っていた先輩から話を聞いたり、学校見学会に参加したりすることでより深く知ることができました。

Q. 実際に入学してみてどうでしたか。

A 作業療法のイメージというと手芸や創作物を完成させることだけを目標にしている職業だと思っていましたが、創作活動や物作りが何故その人に必要なのかを考え、治療として提供することを学ぶことができ、更に作業療法に興味を持ちました。

Q. 学生生活で楽しかったこと・苦労したことは何ですか。

A 医学的な勉強などはじめて学ぶことが多くありました。しかし患者さんの治療に直結する専門的な授業であるため、積極的に学ぶことができました。三年間同じメンバーで学んだことで友達との関係は絆が深く、勉強や実習が辛いときは友達に支えてもらいました。国家試験前は点数が思うように伸びず悩んでいましたが、友達と切磋琢磨し合格することができ良い思い出として残っています。勉強以外では学校の行事も多くあり、新入生の歓迎会や卒業式の企画運営、夏期研



▲国家試験合格に向けて一致団結 !!



▲クラスで作った合格祈願のお守り

修などの実行委員会に入り中心となって活動をしました。卒業校の特色としては和気藹々と過ごすことができる環境で、先輩や後輩の話も聞ける機会が多く社会人経験のある方と関わることもあり、社会人経験のない私たちにはいいお手本となり豊富な経験を教わりました。

Q. 現在、作業療法士として患者さんとどのように向き合っていますか？

A 現在は上司や先輩から丁寧に教えていただき日々勉強に励んでいます。就職してからは学生のころに比べ責任が増し毎日緊張しながら仕事をしています。患者さんは少しでも回復したい気持ちがあるので新人だからという甘えは許されないと私は思います。上司と相談しながら患者さんのことをより深く知り相手のニーズに合ったリハビリをすることを心がけています。そういう中で患者さんから「また来てくれたの？」や「歩く姿はどう？」などと笑顔で優しい言葉をかけていただけるので患者さんから逆に元気をもらっています。



▲卒業式

Q. どんな作業療法士になりたいですか？

A 患者さんの生活に寄り添い人生をサポートできる職業だと思います。将来は精神面も身体面も見れる作業療法士になりたいです。また地域に出て対象者にあった地域生活を支えられる作業療法士になりたいと思います。

Q. これから作業療法士になろうと思っている方にメッセージをお願いします。

A 挫折しそうになったこともあります。しかし、それ以上に患者さんの笑顔を間近で感じることができる職業です。ぜひ、一緒に作業療法士として働きましょう。

勤務先



事業所名 医療法人 畏敬会 井野辺病院

所在地 大分市大字中尾字平255番地

病床数 112床

リハビリ職員数 作業療法士24名 理学療法士35名
言語聴覚士9名

プロフィール



わたなべ まゆみ
渡辺 真弓

平成25年3月 大分リハビリテーション専門学校 卒業
平成25年4月 井野辺病院 入職



社会福祉法人 農協共済
別府リハビリテーションセンター

作業療法士 佐藤 圭一郎 さん
Sato Keiichiro

一般企業を退職後、作業療法士へ 自分のリハビリ体験がきっかけに

Q. なぜ作業療法士を目指そうと思いましたか？

A 私はスポーツが好きで、小さな頃から体を動かすことを趣味としていました。しかし、私が二十歳のときに怪我をしてしまい、約二年半のリハビリ生活を送りました。体を動かすことが好きな私にとって二年半は長く、険しく、暗いトンネルの中を彷徨っているように感じました。そのようなときに私のリハビリの担当であった作業療法士に出会いました。その作業療法士は愚痴や相談を親身に聞いてくれ、時には厳しく、時には優しく接してくれました。そのときに作業療法の素晴らしさを知り、身体機能だけでなく、心に寄り添うものがリハビリなのだと感じました。大学を卒業して一般企業に就職しましたが、リハビリ生活の経験が忘れられず、医療関係の仕事に触れたくてリハビリ助手を経験した後、学校へ入学しました。



▲学園祭

Q. 実際に入学してみてどうでしたか。

A 社会人経験者の私と、現役生とでは考え方の違いがありました。現役生は言いたいことをどんどん言ってくる感じで戸惑いましたが、現役生からコミュニケーションをとってくれ、こちらも接しやすかったです。私からは現役生に社会での経験談などを話し、関係づくりを行っていきました。

クラスが打ち解けるきっかけは学園祭でした。学園祭準備期間では衝突もありましたが、そのおかげでいろいろと分かり合うことができました。

Q. 学生生活で楽しかったこと・苦労したことは何ですか。

A 楽しかったことは、多くの仲間(クラスメイト)に出会えたことです。私のクラスは、個性豊かで、男女問わず絆が深かったと思います。そのような環境で三年間勉強できたことは、私の人生の中で貴重な時間であり、卒業した今でも大切な仲間です。また苦労したことは、実習や国家試験が頭に浮かびます。実習では、患者様が見えていない時期がありました。私は頭が硬く、柔軟性がない所があったので、本当に苦労しました。しかし、指導して下さった作業療法士の方々を初め、クラスメイトからの励ましもあり、何とか実習を乗り切ることができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。



▲釣り実習



▲料理実習

勤務先



事業所名	社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター
所在地	別府市鶴見中山田1026-10
病床数	116床
リハビリ職員数	作業療法士40名 理学療法士46名 言語聴覚士16名

プロフィール



さとう けいいちろう
佐藤 圭一郎

平成25年3月 藤華医療技術専門学校 卒業
平成25年4月 別府リハビリテーションセンター 入職

おとぎの作業療法物語 ～作業療法学生編～



大分廉子

私が高校に入学してすぐ、祖母が脳梗塞で入院したときに作業療法士と出会いました

おばあちゃん、大丈夫?
だいぶ元気になったね

一人では何もできん
人に迷惑をかけて、情けない…

左の手足が今まで通りに動かないことに
悲観的になり、泣いている祖母を見て、
何の言葉も掛けることができませんでした

1週間後

わあうまい!
さすが大分さん

もう少し練習したら、
孫にマフラーを
プレゼントできるかしら

リハビリ室で作業療法士と一緒に
左手の使い方を工夫しながら大好きな編み物に、
一生懸命取り組んでいる祖母を
目の当たりにしました

作業療法士って素敵な職業だな!
私もこんな風に人の役に
たつような仕事をしたい!!

こうして、作業療法士になるために、
養成校を受験して無事に合格することができました

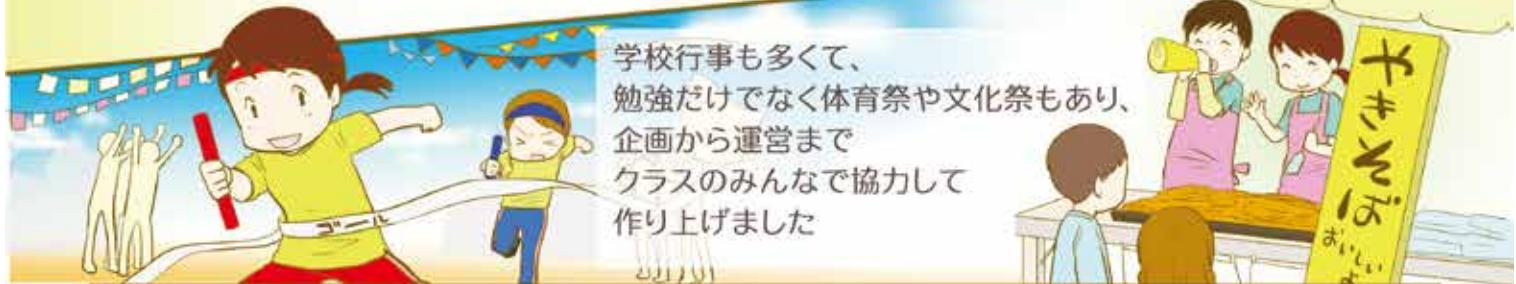
〇〇リハビリ専門学校



学校生活が始まると
実際に作業療法士として
患者さんの治療を経験してきた先生方が、
自身の経験も交えて分かり易く教えてくれました



また同じ道を目指す友人や先輩が
常に周りにいたことも支えになりました



最終学年になり長期間の実習がスタートしました
脳梗塞で左の手足が不自由になったAさんを担当させていただくことになりました

Aさん。
早くご自宅へ帰れるよう、
今日も手足を
しっかり動かしましょう

この手じや何もできない…
もう何もしたくないから
ほっといてくれ!!

日常生活の食事や歯磨きなどは右手のみで自分でできましたが、
その他は自分でしようとせず、介助が必要でした

日中もベッドで寝ていることが多く、活動量が少ない状態でした

どうしよう…

Aさんから訓練を拒まれて途方に暮れていたとき、
担当の作業療法士の方がアドバイスをくれました

手足を動かすことだけが
リハビリじゃないのよ
Aさんは釣りが大好きなんだよ!
そこからアプローチしてもいいんだよ

Aさん!また釣りに行けるよう
練習をしてみませんか?
私、釣りは素人なので
Aさんに色々教えてもらいましてたら
うれしいんですけど、どうですか?

あんたが
そういうなら
少し教えてもいいぞ

こうやってAさんに
"釣り"に必要な動作や道具について
教えてもらいまがら練習を始めました

Aさん
竿は腰にベルトをして
ひっかけるようにしましょう
左手から外れないように
竿にもベルトを付けますね

確かに左手も
意外に動かせるな…
もっと練習したら釣りが
できるようになるかもしれないなあ

釣りに行くなら着替えも、
トイレも自分でできんと行けんなあ!
でこぼこ道も歩けるようにならんと!
こりやあ忙しいぞ!

最終学年になり長期間の実習がスタートしました
脳梗塞で左の手足が不自由になったAさんを担当させていただくことになりました

Aさん。
早くご自宅へ帰れるよう、
今日も手足を
しっかり動かしましょう

この手じや何もできない…
もう何もしたくないから
ほっといてくれ!!

日常生活の食事や歯磨きなどは右手のみで自分でできましたが、
その他は自分でしようとせず、介助が必要でした

日中もベッドで寝ていることが多く、活動量が少ない状態でした

どうしよう…

Aさんから訓練を拒まれて途方に暮れていたとき、
担当の作業療法士の方がアドバイスをくれました

手足を動かすことだけが
リハビリじゃないのよ
Aさんは釣りが大好きなんだよ!
そこからアプローチしてもいいんだよ

Aさん!また釣りに行けるよう
練習をしてみませんか?
私、釣りは素人なので
Aさんに色々教えてもらいながらできたら
うれしいんですけど、どうですか?

あんたが
そういうなら
少し教えてもいいぞ

こうやってAさんに
“釣り”に必要な動作や道具について
教えてもらいながら練習を始めました

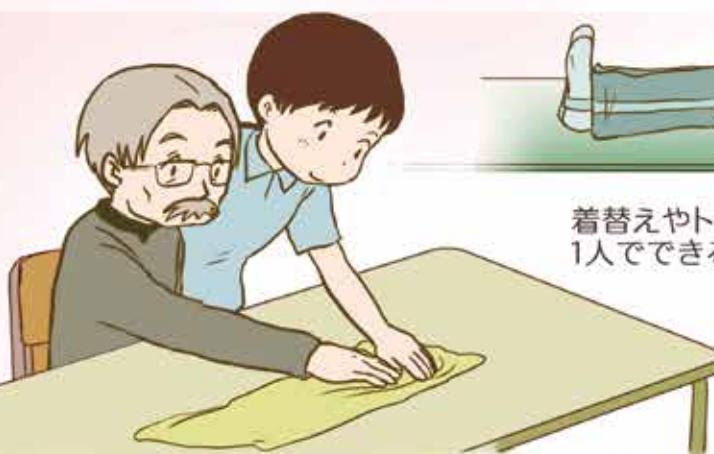
Aさん
竿は腰にベルトをして
ひっかけるようにしましょう
左手から外れないように
竿にもベルトを付けますね

確かに左手も
意外に動かせるな…
もっと練習したら釣りが
できるようになるかもしれないなあ

釣りに行くなら着替えも、
トイレも自分でできんと行けんなあ!
でこぼこ道も歩けるようにならんと!
こりやあ忙しいぞ!

こうやってAさんの気持ちに少しづつ変化がみられていきました

最初は、何もできないと周りの人に頼ることが多かったAさんですが、
よほど嫌がっていた機能訓練にも自ら積極的に取り組むようになりました



着替えやトイレも左手をつかいながら
1人でできるようになっていきました



退院までに、住宅訪問で決まった手すりや
段差の解消など自宅の環境を整えました



また、自分の治療を報告書にまとめて、
先輩作業療法士からたくさんアドバイスをいただき、
理解を深めました

Aさん退院の日

あんたがいてくれたから、
頑張れたよ。ありがとう
立派な作業療法士にな
ってくださいね

大変お世話になりました
Aさんのおかげで
たくさん学ぶことができました

絶対、立派な作業療法士になって
Aさんから学んだことを
活かしていかないと

実習から帰ってくると
クラスメイトも色々な体験をしていました
作業療法士になりたいと強く思う気持ちは一緒でした

作業療法士って
やっぱりいいよね

本当に!!
頑張ろうね

みんなとまた
気合いを入れなおして
頑張っていこう

就職活動

学校求人

こんなにたくさんの所から
作業療法士は必要と
されているんだ!!

採用試験の日

今まで一生懸命
頑張ってきたんだ!
絶対大丈夫!

卒業式

学校生活では、作業療法についてだけでなく
人としてもたくさんのこと学びました

国家試験も無事に合格することができました!!

4月から作業療法士として働き始めます

これから、出会う障害をもつ方々が
一人でも多くの笑顔が見られるよう
関わっていきたいと思います

作業療法士になるためには、
国の指定した養成校で3年以上学び、卒業することが必要です

養成校で必要な単位を取得すると国家試験の受験資格が得られ、
国家試験に合格すると、作業療法士免許証が交付され、
作業療法士になることができます

作業療法士の養成校は各県に開設されており、その種類は4年制大学、
短期大学(3年制)、専門学校(3年制・4年制)などがあります

次ページで作業療法士の働く場所を詳しく説明します

おわり

作業療法士は、様々なところで活躍しています!

作業療法士の就職率は
どれくらい???
どんなところに就職できるの???



**大分県内
養成校卒業生の
就職率100%**



大分県内には作業療法士の養成校が2校あり、県内からの求人が約150、全国からは約2000の医療機関や施設などから求人募集が届いており、安定した就職率を保っています。

小児施設

小児医療施設や障害児施設などで、遊びや運動を取り入れ、様々な障害のある子どもたちが楽しみながら課題にチャレンジできるよう支援します。

作業療法を必要とする対象は、子どもから高齢者まで様々です。医療機関で働く作業療法士が多い状況ですが、地域ケア会議への参加など、徐々に活躍の場が広がっています。

就労支援施設

就労移行支援、就労継続支援事業所などで、その人の能力や適正に応じた職業に就けるよう支援し、社会参加を促進します。



介護老人保健施設、 通所リハ・訪問リハ事業所など

介護が必要な方であっても、施設や在宅でより自立（自律）した生活ができるよう支援します。また、地域では介護予防などにも取り組んでいます。



病院や診療所

総合病院やリハビリ専門病院、精神科病院などで、病気やケガによって日常生活に支障を来している方々に対し、仕事や家庭に復帰したり、地域で暮らせるよう支援します。

教育機関

現場経験者を講師として招く医療系の専門学校や大学は毎年増加していて、優秀な作業療法士を育てます。

学校法人平松学園

大分リハビリテーション専門学校 作業療法士科



大分県初のリハビリテーション 専門職養成校

大分駅から徒歩15分、大分市の中心地に、理学療法士科：平成5年、作業療法士科：平成7年、言語聴覚士科：平成13年、3科とも県内で初めての養成校として開設しました。作業療法士科の卒業生は450名を超え、関西、四国、九州各県に広がり、中堅、または部門責任者となり活躍し、学内講義や実習指導、就職などについても学校と良好な関係を築いています。

定員30名・少人数で“こころある作業療法士”を育成

養成校が急増し、定員40～60名が主流ですが、本校作業療法士科は1学年30名と少数のため、きめ細かい学内講義・実技指導が行え、全教員が学生一人一人と向き合い、顔の見える教育を行っています。

授業は講義だけでなく、学年を超えた実技指導や学内行事の企画・運営を通して、実践から多くを学んでいきます。その甲斐もあり、クラスの団結力と他科をも含め先輩・後輩の縦横の深い絆が結ばれています。また、全授業時間の3分の1近くを病院実習に費やし臨床を大切にしたカリキュラムを組んでいます。

このように臨床と常に相互関係をもった教育に努め、知識・技術だけでなく前社会人としての「態度」、医療専門家としての「こころ」を磨く指導に力を入れています。“ひとの苦しみがわかる感性とやさしさ”、“学ぼうとする姿勢”、“自ら考え行動するちから”、“多くの人と信頼関係を築ける責任感”を持ち合わせた作業療法士育成に努めています。



学生参加による学校見学会



学園祭で作業療法を紹介



3年次 研究法発表会



卒業式



作業療法士科
教員

- 定 員：30名
- 修業年限：3年
- 所 在 地：大分市千代町3丁目22番
- お問い合わせ：TEL (097) 535-0201
h-sagyou@po.d-b.ne.jp
- ホームページ：<http://www.coara.or.jp/~rinkou/>
- 世界作業療法士連盟認定校

学校法人後藤学園

藤華医療技術専門学校

作業療法学科



山々に囲まれ自然豊かな環境、広い敷地を有する校舎で

藤華医療技術専門学校は、平成13年4月に豊後大野市三重町に開校した3年制、定員30名の作業療法士養成校で、今年13年目を迎えます。母体は学校法人後藤学園であり、本校には作業療法学科の他、理学療法学科、看護学科、助産学科があります。

現在、作業療法学科の校舎は旧県立三重高等学校跡地にあり、山々に囲まれ自然豊かな環境、広い敷地を有する校舎で、学生は国家資格取得に向けて勉学に励んでいます。

心豊かな作業療法士の育成を目指して!

本校の教育方針は「形から心を養う実学教育」、校是は「礼儀・感謝・奉仕」です。この教育方針や校是からわかるように、単なる国家試験合格や専門職に必要な知識の修得だけでなく、豊かな人間性を兼ね備えた作業療法士の育成に取り組んでいます。教員は7名で、即戦力となる作業療法士の育成に全力で取り組んでいます。

本校の特徴は、雄大な自然と広い校舎を生かした授業内容にあります。作業療法は様々な病気や怪我で生活に障害を負われた方々に、心豊かに生活していただけるよう様々な援助、指導を行います。ここで大切なのが相手の気持ちに共感できる心です。そこで本校では、豊かな感性を育むために学生に色々なことを経験してもらいます。中には学生に自ら企画立案から実施まで行ってもらう授業もあります。これら多くの経験を通して「共感する心」や「感謝の心」を育むことを目指して学生教員の二人三脚で取り組んでいます。

学校見学は隨時受け付けておりますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



災害支援ボランティアへの参加



園芸実習(基礎作業学)



学生の企画による講義



測定の実技練習



作業療法学科教員

- 定 員：30名
- 修業年限：3年
- 所 在 地：豊後大野市三重町内田2706 リハビリ学館
- お問い合わせ：TEL (0974) 22-3800
toka@gotogakuen.ac.jp
- ホームページ：<http://toka.gotogakuen.ac.jp/>

全国地域作業療法研究大会 第18回学術集会



研究大会を主催する日本地域作業療法研究会は、「地域」という場の中で展開する作業療法サービスの在り方について研究することを目的に、平成7年6月に発足しました。今回、第18回学術集会が大分で開催されたので、運営委員として携わった当協会会員三雲氏に大会の感想や今後の抱負をいただきました。



第18回学術集会を終えて

第18回学術集会 事務局長 三雲 透
(デイサービス楽横尾センター)

平成25年3月2日、3日に、大分市のコンバルホールにて、「全国地域作業療法研究大会学術集会イン大分『自立支援に向けた作業療法士の挑戦』」を開催し、運営委員として大会に参加させていただきました。

作業療法関連の全国規模の大会が大分県で開催されることとは稀で、準備の段階から多くの関係者が関心と期待を寄せてくださいました。

まず、基調講演では、行政主導の自立支援型ケアマネジメントを推進し、介護保険料と要介護認定率の引き下げに成功した、埼玉県和光市保健福祉部長の東内京一氏にご講演いただきました。また、大分県高齢者福祉課参事の前田耕作氏や湯布院厚生年金病院リハ部の日隈武治氏などから県内の介護予防の取組現況をご講演いただいた後に、「しらしんけん～地域で求められる作業療法士になるために～」のテーマでシンポジウムを行いました。シンポジウムでは従来の保護型介護から(脱却し、本来の介護保険の理念に基づいた)自立支援型(介護)・予防型介護を推進することに対し、活発な討論が行われました。参加者からは、「県内外の自立支援への現況を知る良い機会となった」、「作業療法士の役割を理解できた」などの声が寄せられました。また、一般演題は、実践報告や事例報告など21演題が集まり、活発な意見交換が行われました。

今回は、地域作業療法を広く知っていただくため、公開形式をとりました。このため、参加者は作業療法士に加え、県市町村行政職員、地域包括支援センター職員、保健師、看護師、ケアマネジャー、介護サービス事業者、民間企業など総勢379名となり、大会最多の盛況な会となりました。この場を借りて県内地域ケアに関わる方々へお礼申し上げます。

そして、大会を通じて私たち作業療法士の課題も見えてきました。平成25年度から、県内ほとんどの市町村で地域ケア会議が開催されます。作業療法士は大分県作業療法協会を通して地域ケア会議にアドバイザーとして派遣されます。専門職という立場から、ケアマネジャーと介護サービス事業所の職員にアドバイスをするには、自立を支援するための専門知識と技術が要求されます。今後は、更に地域に目を向けて技術を研鑽し、スキルアップしていくことが必要です。作業療法士は、高齢者、障害者の課題を明確にし、生活機能を向上させるよう支援していく貴重な職種です。私たちが地域に求められる真の作業療法士として成長することが、地域貢献に繋がると考えます。

また、本大会が大分県で開催されたことで今後の大分県の地域包括ケアの推進に向けて、行政の担当課や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所とより連結が強まることに感謝しております。



演

プログラム

大会長：佐藤 孝臣（株式会社ライフリー 代表取締役）

後援：公益社団法人 大分県作業療法協会、他

3月2日（土）

1. 基調講演

「介護保険における自立支援型マネジメントについて」

講師：東内 京一（埼玉県和光市保健福祉部部長）

2. 講演①

「大分県における地域包括ケアシステムの概要について」

講師：前田 耕作（大分県高齢者福祉課参事）

3. 講演②

「地域包括ケアシステムに求められる作業療法士の役割について」

講師：日隈 武治

（大分県作業療法協会 副会長、湯布院厚生年金病院
リハビリテーション部技師長）

4. 講演③

「地域作業療法の実践～日本作業療法士協会の立場から～」

講師：大庭 潤平

（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部講師）

5. シンポジウム

「しらしんけん～地域包括ケアシステムに求められる
作業療法士になるために～」

3月3日（日）

1. 吉田隆幸記念講演

講師：座小田 孝安（株式会社シダー 専務取締役）

2. 一般演題 21題

3. 教育講演

「地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割とは」

講師：中村 春基（一般社団法人 日本作業療法士協会 会長）

活動報告 2013年2月 ▶ 2013年5月

学術事業

【学会・研修会等】

- 第16回大分県作業療法学会** 参加者：211名
「見つめ直そう！作業の力～自立(自律)生活を支援する作業療法～」
日 時：平成25年2月3日(日) 9:30～16:20
場 所：ビーコンプラザ
内 容：特別講演、シンポジウム、演題発表(口述13題、ポスター発表10題)、部局・支部・連盟活動報告(展示)
特別講演「自分支援の考え方」
講 師：岩瀬 義昭
(鹿児島大学医学部保健学科教授)
シンポジウム 「自立(自律)生活を支援する作業療法」
コーディネーター：山田 康二 (大分岡病院)
シンポジスト：永松 謙一 (博愛病院)
尾山 泰宏 (宇佐病院)
佐藤 友美 (湯布院厚生年金病院)
演題発表 (口述13題、ポスター10題)
部局・支部・連盟活動報告、機器展示、書籍販売

- 学術技能研修会V** 参加者：40名

- 日 時：平成25年2月24日(日) 10:00～12:40
場 所：大分県ニューライフプラザ
内 容：精神科領域における施策の動向と作業療法実践
講 師：萩原 喜茂
(日本作業療法士協会事務局長、国際医療福祉大学作業療法学科長・教授、特定非営利活動法人 那須フロンティア理事長)

地域ケア会議に関するナイトセミナー

- 共 催：(公社)大分県理学療法士協会
テーマ：「地域包括ケアシステムと地域ケア会議の実際」
内 容：①地域包括ケアシステムについて
講 師：高橋 和良
(大分県理学療法士協会副会長
介護老人保健施設 清流荘)
②自立支援プログラムと模擬ケア会議
講 師：佐藤 孝臣 (副会長/株式会社ライフリー)

- 第1回 (佐伯市) 当協会会員 参加者：16名

日 時：平成25年2月14日(木) 19:00～21:00
場 所：長門記念病院

- 第2回 (中津市) 当協会会員 参加者：26名

日 時：平成25年2月19日(火) 19:00～21:00
場 所：川築整形外科病院

- 第3回 (別府市) 当協会会員 参加者：36名

日 時：平成25年2月26日(火) 19:00～21:00
場 所：別府リハビリテーションセンター

第7回九州作業療法士会長会主催合同研修会

- 主 催：九州作業療法士会長会 参加者：97名(うち当協会会員35名)
日 時：平成25年2月11日(日) 14:00～18:00
12日(月) 10:00～13:00
会 場：コンバルホール
テーマ：「後輩育成におけるコーチング」
講 師：島袋 十史樹
(プラスコミュニケーションズ代表 プラス式コーチング主宰)

公益事業

【人材派遣】

地域ケア会議 助言者派遣

- 豊後高田市**
2月14日(木)、2月28日(木)、3月14日(木)
3月28日(木)、4月11日(木)、4月25日(木)

- 杵築市**
2月 6日(水)、2月13日(水)、2月20日(水)
4月 3日(水)、4月10日(水)、4月17日(水)
4月24日(水)

- 別府市**
5月14日(火)、5月18日(土)、5月28日(火)

- 豊後大野市**
3月 1日(金)、3月 8日(金)、3月15日(金)
5月10日(金)、5月17日(金)、5月24日(金)
5月31日(金)

- 津久見市**
4月10日(水)、4月25日(木)

- 臼杵市**
4月27日(土)、5月 7日(火)、5月14日(火)
5月21日(火)

豊後大野市げんき講演会への講師派遣

- 日 時：平成25年2月23日(土)
会 場：エイトピア大野
派遣者：佐藤 孝臣 (副会長/株式会社ライフリー)

大分市保健所主催 社会復帰支援教室への講師派遣

- 日 時：平成25年2月28日(木)
会 場：大分市保健所
派遣者：甲斐 裕介 (簾華医療技術専門学校)

豊後高田市 乳幼児障がい早期ケア事業への人材派遣

- 日 時：平成25年3月22日(金)
会 場：豊後高田市健康交流センター花いろ
派遣者：松尾 彰 (大分リハビリテーション専門学校)

平成24年度 第2回理事会

- 日 時：平成25年3月22日(金) 18:30～19:30
場 所：大分県作業療法協会ビル
出席者数：11名

- 平成25年度事業計画について
- 平成25年度予算について

平成25年度 第1回理事会

- 日 時：平成25年5月10日(金) 19:00～21:00
場 所：大分県作業療法協会ビル
出席者数：13名
- 平成24年度事業報告
 - 平成24年度決算報告並びに会計監査報告
 - 第2期長期活動計画について
 - 名誉会員の推薦について

大分県作業療法協会のロゴマーク&キャッチフレーズをご存知ですか？



原案：尾山泰宏（宇佐病院）

心豊かに
作業療法

ロゴマークはOITA(大分)の文字の中にOT(作業療法)の文字を入れこむことで、“地域に密着し、地域から必要とされる存在”になれることをイメージして作っています。また当協会のイメージカラーである黄色を背景に選択しています。当協会員と一般の方に長く愛されるロゴマークとキャッチフレーズを目指します。



リハビリテーションのことや、作業療法のことで分からなかったり、お困りのことがありましたら、右記までご連絡ください。

公益社団法人 大分県作業療法協会
〒870-0038 大分県大分市西春日町3-2 大分県作業療法協会ビル
TEL:097-547-8662 FAX:097-547-8663
<http://www.oita-ot.com/>